

報道関係者各位

モバイル・コンテンツ・フォーラム

**2007年 モバイルコンテンツ関連市場の合計は、1兆1,464億円**

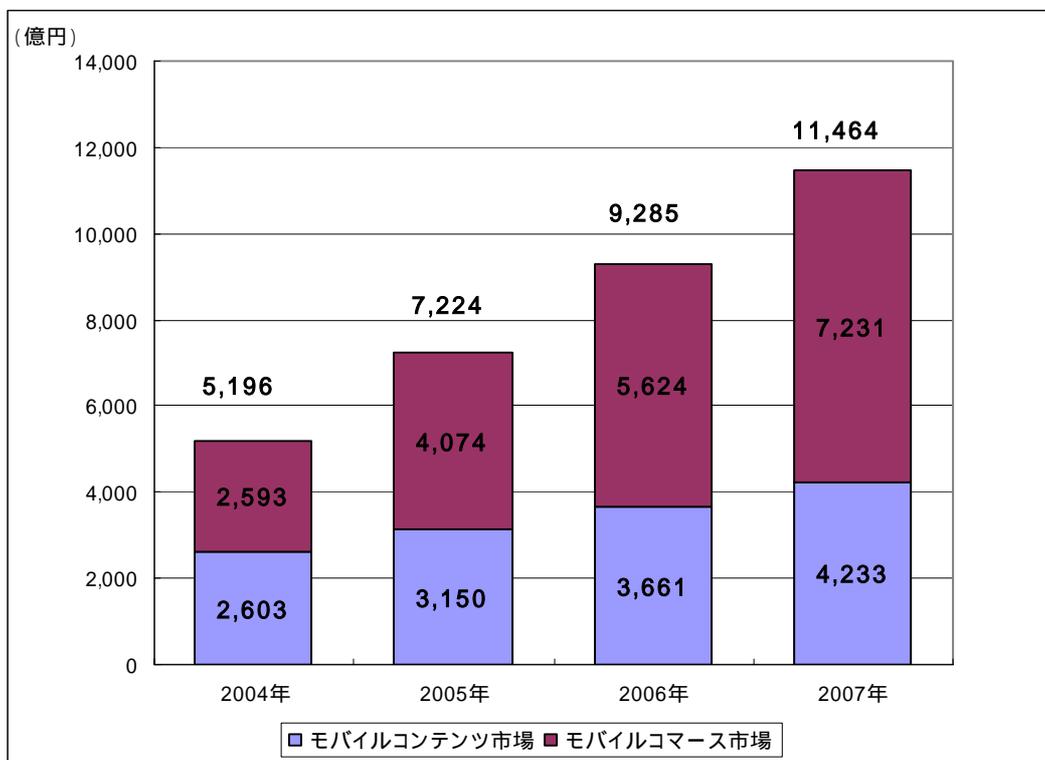
**モバイルコンテンツ市場は、4,233億円**

**モバイルコマース市場は、7,231億円**

(単位：億円)

市場カテゴリー	2004年	2005年	2006年	対前年度比	2007年	対前年度比
モバイルコンテンツ市場	2,603	3,150	3,661	116%	4,233	116%
モバイルコマース市場	2,593	4,074	5,624	138%	7,231	129%
モバイルコンテンツ関連市場	5,196	7,224	9,285	129%	11,464	123%

(モバイル・コンテンツ・フォーラム調査)



モバイル・コンテンツ・フォーラム(MCF)では2007年(1月~12月)のモバイルコンテンツ関連市場について市場規模調査を実施しました。モバイルコンテンツ関連市場として、着信音系、ゲーム系をはじめとしたデジタルコンテンツを有料配信する「モバイルコンテンツ市場」と、物販系、サービス系、トランザクション系の3分野で構成された「モバイルコマース市場」について結果を公表いたします。2007年の両市場をあわせた「モバイルコンテンツ関連市場」の合計は対前年比123%の1兆1,464億円となり、初めて1兆円を超えました。

社団法人電気通信事業者協会によると、携帯電話の契約数は2008年6月末で1億365万契約、そのうちコンテンツの利用が可能なインターネット対応の携帯電話は8,928万契約となっています。また、第3世代(3G)携帯も9,083万契約と契約数全体の90%近くを占めており、多様でリッチなコンテンツやサービスを利用できるユーザー数が増加していることが伺えます。

今回発表したモバイルコンテンツ市場とモバイルコマース市場以外にモバイルビジネスの分野としては、ピクチャー広告などの純広告と懸賞やノベルティでモバイルを利用した販促・キャンペーンなどを含んだ「モバイル広告・プロモーション市場」、モバイルコンテンツサイト構築、システム運営・管理を中心とした「モバイル・ソリューション市場」があります。

## 2007年モバイルコンテンツ市場は、4,233億円

「着うた市場」「着うたフル市場」を合わせた「着うた系市場」は、1,074億円

「モバイルゲーム市場」は、848億円 「電子書籍市場」は221億円

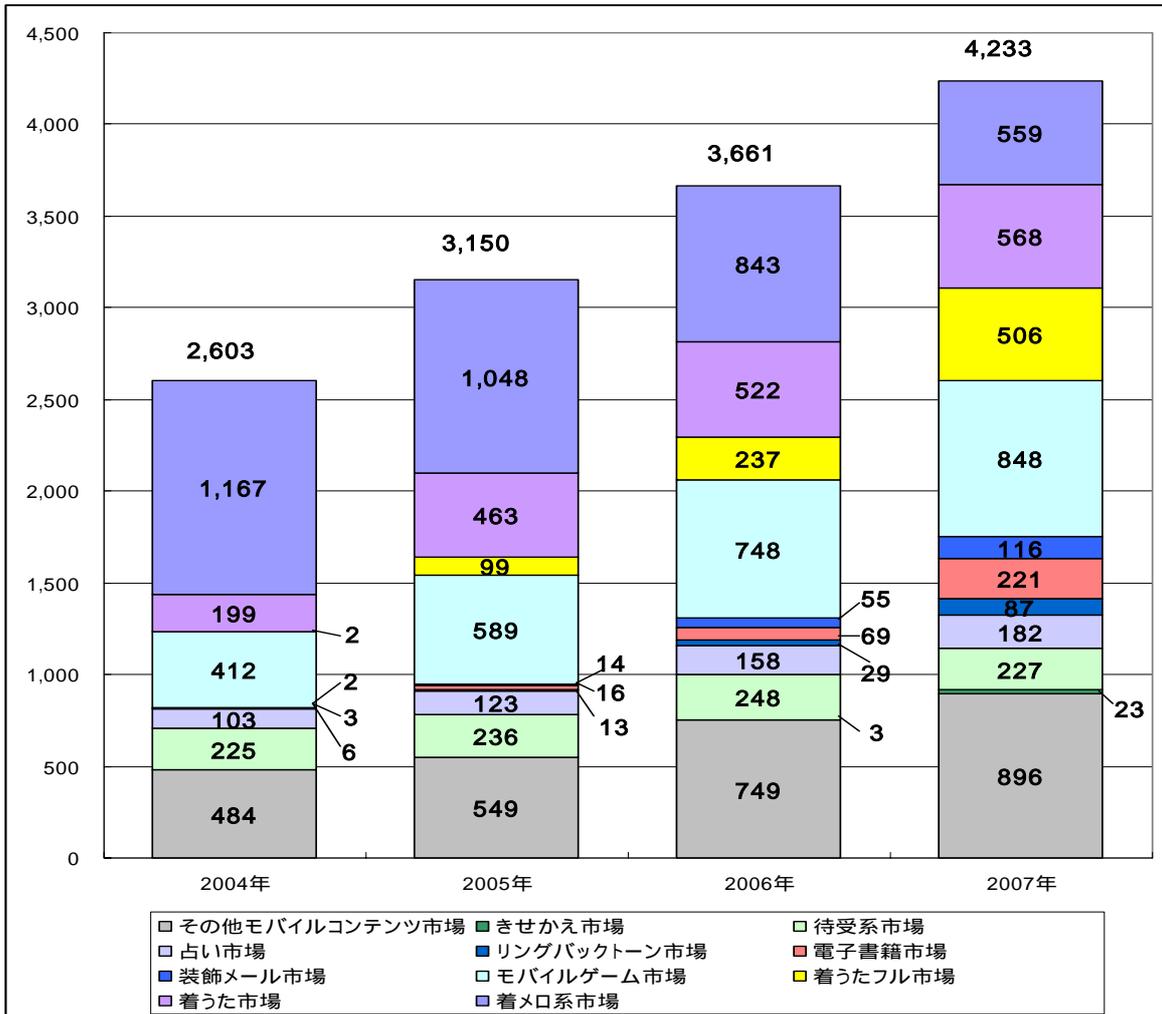
「待受系市場」は、227億円 「装飾メール市場」は、116億円

(単位：億円)

	2004年	2005年	2006年	対前年比	2007年	対前年比
着メロ系市場	1,167	1,048	843	80%	559	66%
着うた系市場	201	562	759	135%	1,074	142%
(内訳)着うた市場	(199)	(463)	(522)	113%	(568)	109%
(内訳)着うたフル市場	(2)	(99)	(237)	239%	(506)	214%
モバイルゲーム市場	412	589	748	127%	848	113%
装飾メール市場*	2	14	55	393%	116	211%
電子書籍市場	3	16	69	431%	221	320%
リングバックトーン市場	6	13	29	223%	87	300%
占い市場	103	123	158	128%	182	115%
待受系市場	225	236	248	105%	227	92%
きせかえ市場*2	-	-	3	-	23	767%
その他モバイルコンテンツ市場	484	549	749	136%	896	120%
モバイルコンテンツ市場合計	2,603	3,150	3,661	116%	4,233	116%

(モバイル・コンテンツ・フォーラム調査)

## モバイルコンテンツ市場



装飾メール市場 = デコレーションされた HTML メールのこと。ドコモではデコメ、au ではデコレーションメール、ソフトバンクモバイルではアレンジメールと呼称されている。

2 きせかえ市場 = 待受画面に加え、メニュー、電池残量などのアイコン・文字フォント等の設定がカスタマイズできるコンテンツ。ドコモではきせかえツール、au ではケータイアレンジ、ソフトバンクモバイルではきせかえアレンジ。

携帯電話でデジタルコンテンツを有料配信する「モバイルコンテンツ市場」の 2007 年の市場規模は、対前年比 116% の 4,233 億円となっております。今年は「着うた市場」「着うたフル市場」を合わせた「着うた系市場」が 1,074 億円となり、モバイルコンテンツ市場の中で最も大きい規模となりました。コミックを中心に好調な「電子書籍市場」は昨年に比べて約 3 倍の 221 億円と急成長を続けております。

今回は新たに「リングバックトーン市場」「占い市場」「待受市場」「きせかえ市場」の 4 つの分野を追加いたしました。

海外でも人気が高い、呼出し音サービスを提供する「リングバックトーン市場」は、サービスが開始された03年から順調な成長を見せ、07年87億円となっています。06年にサービスが開始された「きせかえ市場」とは、メニュー画面のアイコンなどがカスタマイズできるコンテンツサービスの市場で、07年の市場規模は23億円となっております。伸び率は767%と順調なスタートを見せており、今後、きせかえ対応端末の普及に伴った市場の成長が見込まれています。

この他、モバイルコンテンツサービスが開始された当初から主力であった「占い市場」は対前年比115%の182億円、「待受系市場」は対前年比92%の227億円とともに市場の落ち着きを見せつつあります。モバイルコンテンツ市場の立ち上がり当初は、「着メロ系市場」「モバイルゲーム市場」「占い市場」「待受系市場」に利用が集中していたものの、リッチコンテンツを利用できる環境の変化に伴い、ユーザーが多種多様なコンテンツへと分散していることが伺えます。

## 2007年モバイルコマース市場は、7,231億円

「物販系」は、3,292億円

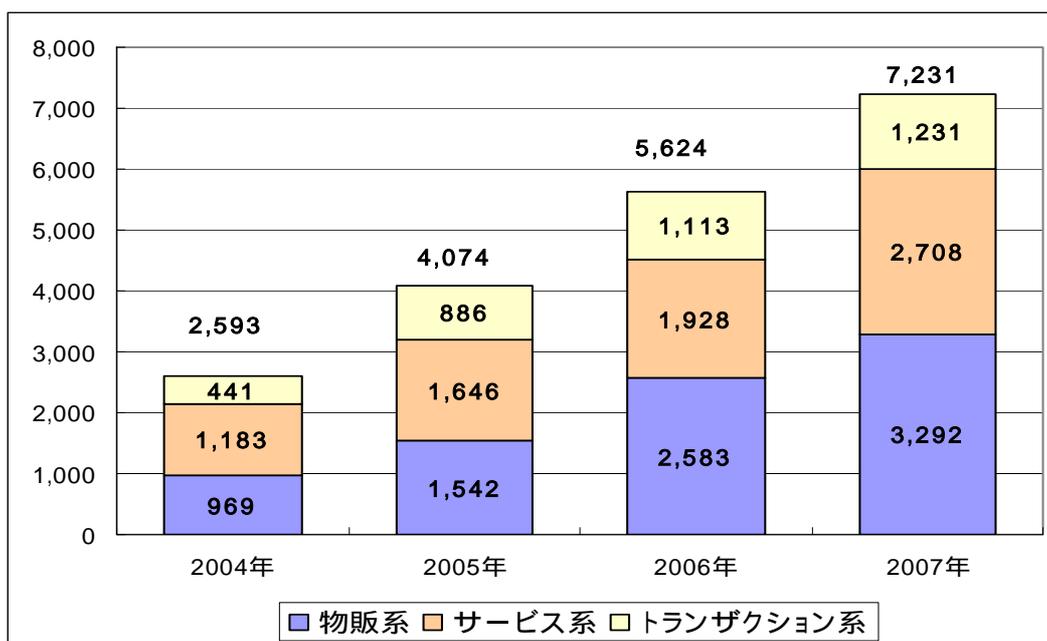
「サービス系」は、2,708億円

「トランザクション系」は、1,231億円

(単位：億円)

	2004年	2005年	2006年	対前年度比	2007年	対前年度比
物販系	969	1,542	2,583	168%	3,292	127%
サービス系	1,183	1,646	1,928	117%	2,708	140%
トランザクション系	441	886	1,113	126%	1,231	111%
モバイルコマース市場合計	2,593	4,074	5,624	138%	7,231	129%

(モバイル・コンテンツ・フォーラム調査)



「モバイルコマース市場」は、「物販系」(モバイル通販)「サービス系」(興行チケット、旅行チケット、航空チケット、鉄道チケット)「トランザクション系」(証券取引手数料、オークション手数料、公営競技手数料)の3分野に分類しております。3分野あわせ「モバイルコマース市場」は、対前年比 129%の 7,231 億円となりました。

様々な商品を携帯電話から購入する「物販系」は、対前年比 127%の 3,292 億円となりました。増加の要因は、これまでの購入者の中心であった 10 代後半から 20 代前半の女性だけでなく、若い男性や中年層まで購入層が広がってきていることと、最新家電など市場で売れ筋となっている商材と同様のものがモバイルでも売れ筋となってきており、取り扱い商材の種類や数が増えている事があげられます。

携帯電話での興行チケットや交通チケットの購入を含んだ「サービス系」に関しては、前年比 140%の 2,708 億円となりました。予約購入、改札、チェックインができる方法として、特に交通系の利用が増加しており、昨年と同じ伸び率を維持しています。

証券取引、公営競技、オークションなどの手数料を集計した「トランザクション系」は、業界全体の売上の伸び悩みに引きずられる形となった証券系が影響し、市場全体の伸び率は減少したものの、市場規模自体は依然、増加傾向にあります。

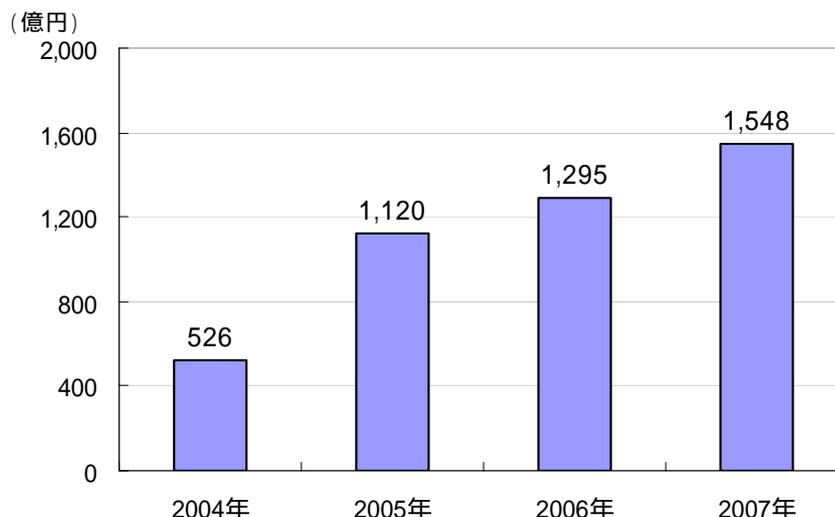
(参考) モバイルオークション流通総額

モバイルコマース市場のうちトランザクション系として扱われている「オークション市場」は流通総額ではなく手数料を市場規模に採用している。

(単位: 億円)

	2004年	2005年	2006年	2007年	対前年比(%)
モバイルオークション流通総額	526	1,120	1,295	1,548	120

(モバイル・コンテンツ・フォーラム調査)



## まとめ

第3世代(3G)携帯とパケット定額制の普及は、サイトやコンテンツの利用促進効果があり、コンテンツ市場の基礎的な成長要因になっております。携帯端末は、ほぼ一人に1台が持つようになり、リッチコンテンツを利用できる環境も整っています。更に、iPhoneのような新しいタイプの端末の導入で市場も更に活性化されるものと考えられます。

モバイルコンテンツ分野では、書籍、音楽CDなど既存のパッケージであったものを携帯電話経由で楽しむことのできる「着うたフル」、「電子書籍」の市場が拡大しています。この携帯電話を介し既存のパッケージを楽しむといったユーザーニーズ、ワンセグ搭載端末の出荷台数の伸びから、映像ソフトを配信する動画市場への需要も高まってくると見られ、今後、市場として立ち上がってくることが期待されます。

また、ユーザーが自分で携帯電話をカスタマイズしたいという欲求に応えた形で「きせかえ市場」「リングバックトーン市場」「装飾メール市場」も順調な伸びを見せています。この市場の成長も続くと見られ、新たなカスタマイズ機能を持ったコンテンツサービスが誕生してくるものと思われれます。

モバイルコマース市場では、それまでの物販を注文するネットワーク端末としての利用から、シチュエーションにあわせて決済手段、交通チケット等を利用するリアル行動端末へと利用が拡大してきています。今後、Felica対応読取機の普及とあわせて市場拡大の弾みとなってくると推測されます。

モバイルコンテンツ関連サービスのスタート時には、「着メロ」「モバイルゲーム」といった携帯電話のみで利用可能なモバイルコンテンツが市場を牽引していましたが、現在、市場拡大の要因となってきた既存メディア、パッケージの代替メディアとしてや、定期や決済手段などの生活インフラといったように多様な分野にモバイル利用が及んでおります。今後も多様なメディアをつなぐ媒体としてモバイルコンテンツ関連市場は拡大し、また多岐に渡った利用方法が出現してくると考えられます。

## モバイル・コンテンツ・フォーラム

モバイル・コンテンツ・フォーラム(略称:MCF)は、モバイルコンテンツ環境の活性化のため、キャリア、メーカー、コンテンツプロバイダー等の企業が参加して1999年に設立された業界団体である。

(現在の会員はコンテンツプロバイダーや通信事業者を中心に293社)

<http://www.mcf.to/>

本リリースに関するお問い合わせ先

モバイル・コンテンツ・フォーラム

ご連絡担当者 岸原孝昌、越賀真紀

本リリースに関するお問い合わせ先

東京都渋谷区東3-22-8 サワダビル4F 〒150-0011

Tel:03-5468-5091 Fax:03-5468-1237

E-mail: info@mcf.to

URL: <http://www.mcf.to/>

電話での連絡可能時間帯 10:00~19:00